

# 絵本ミーティング in きよさと2022

## 「～チェコとオランダ～ 絵本とお菓子と子どもたち」

### 2人の翻訳家によるお話し会

チェコとオランダこの二つの国の子どもたちは、どんな絵本を読み、どんなお菓子を食べているのでしょうか？ 春夏秋冬、どんな暮らしをしているのでしょうか？ 今回の「絵本ミーティング in きよさと」では、チェコの文化に詳しい木村有子さん、オランダの文化に詳しい野坂悦子さんをお招きして、たっぷりお話をうかがいます。秋の一日、おいしい空気の中で、絵本の森をいっしょに散策しましょう。

- ・開催日時：2022年10月22日（土）
- ・会場：清里 竹早山荘（〒407-0301山梨県北杜市高根町清里3545-1学校寮区）
- ・お話し会：15:00～17:00（14:30受付開始）
- ・参加費：1,500円税込/小学生未満無料（お茶とお菓子付）
- ・定員：お申込み順30名様
- ・募集対象：小学生～大学生・一般成人（子ども連れの参加も可）
- ・懇親会：18:00～暖炉を囲んで翻訳童話と絵本について語ろう！
- ・会費：2,500円税込(ワンドリンク・軽食込み)小学生未満無料
- ★宿泊ご希望の場合は、朝食付きで中学生以上6,050円税込（小学生3,850円税込）、宿泊費は現地のご精算になります。



野坂悦子さん  
オランダ語

1959年、東京都に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業後、著作権エージェントを経て、オランダ、フランスに暮らす。1989年にオランダ・金の石筆賞受賞作『レナレナ』で翻訳者デビュー。2003年、『おじいちゃんわすれないよ』で、産経児童出版文化賞大賞を受賞。代表作に『第八森の子どもたち』『ミスターオレンジ』『ぼくといっしょに』など。オランダ語の子どもの本を数多く日本に紹介するかたわら、文化や生活の紹介にも力を注いでいる。



木村有子さん  
チェコ語

東京生まれ。1970年から約3年間、チェコスロバキアの小学校に通う。1984年より2年間ブラハのカレル大学へ留学。1989年よりドイツに4年間暮らす。訳書に『こいぬとこねこのおかしな話』『火の鳥ときつねのリシカ チェコの昔話』『どうぶつたちがねむるとき』『クリスマスのあかり チェコのイブのできごと』など。小学館世界文学館（11/22発売）で『長い長い黒猫の話』『かしこいきつねの物語』を担当。チェコ文化の紹介に努めている。



アンナ・ウォルツ作  
野坂悦子/訳  
きたむらさとし/絵  
フレーベル館



レンカ・ロジノフスカ/作  
木村有子/訳  
出久根育/絵  
福音館書店

〈申込方法〉下記URLまたは右QRコードより申込フォームに入力をお願いします。

<https://forms.gle/hCnERsgXpFR7dBog6> ※申込〆切：10月10日（月）

お申込み・お問い合わせ先／主催：絵本・応援プロジェクト

「絵本ミーティング in きよさと2022」実行委員会（池水）

TEL 090-2418-5354 / mail: yosigen2134@outlook.jp

